

臨床リハビリテーション学（認知症）

【講義】 第1・2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》鎌田樹寛 t.kamada@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本研究科のディプロマポリシー「高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎」を修得することを目指す科目である。テーマとしては、認知症に関するわが国の対策・対応（リハビリテーション）について系統的に学ぶ（本講義は、日本作業療法士協会「専門作業療法士（認知症；専門基礎）」との単位互換された科目である）。本授業では、認知症の専門基礎に位置付けられる「対象者に応じた適切な評価・治療ができる能力」の獲得を目的として学修する。

【学修目標】

一般目標：我が国の認知症リハビリテーションの病期ごとの実践や認知症を取りまく環境の理解について、包括的に学び、理解を深めることを目標とする。

行動目標：

1. 認知症の予防や回復期、維持期における課題やアプローチについて説明ができる。
2. 認知症の事例検討の方法が説明できる。
3. 認知症を取り巻く環境側面（人・物・制度）、考慮すべき点、そしてサポートについて説明できる。
4. 対象者や家族に対する「協業」を目的とする評価法の意義を説明できる。
5. 家族支援の現状や実際について、事例検討や討論から問題点や解決策について考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	リハビリテーションの実践	保健領域における作業療法現状と課題 ・健康増進・予防的観点からのアプローチについて学ぶ 「滝川市65歳大学」の実際を通して	鎌田樹寛
2	リハビリテーションの実践	回復期病院における作業療法 ・高齢者に対する感覚統合療法について学ぶ	鎌田樹寛
3	リハビリテーションの実践	専門病院における作業療法 ・事例検討を通して学ぶ	鎌田樹寛 ゲストスピーカー
4	リハビリテーションの実践	生活維持期における作業療法1 ・介護老人保健施設「生活リハビリテーション」におけるアプローチについて学ぶ	鎌田樹寛
5	リハビリテーションの実践	生活維持期における作業療法2 ・ディケアにおけるアプローチについて学ぶ	鎌田樹寛
6	リハビリテーションの実践	事例検討の方法について学ぶ ・臨床データの整理や量的・質的意味について学ぶ	鎌田樹寛
7	認知症を取り巻く環境の理解	コミュニケーションや対人関係の基本や基礎知識を学ぶ	鎌田樹寛
8	認知症を取り巻く環境の理解	対象者や家族に対するコミュニケーションや対人関係について学ぶ ・対象者中心の評価法を通じた協業について学ぶ	鎌田樹寛
9	認知症を取り巻く環境の理解	多職種連携や協業に必要な技術や能力について学ぶ	鎌田樹寛
10	認知症を取り巻く環境の理解	認知症を取り巻く環境（制度的）理解について学ぶ ・関連法規を通して	鎌田樹寛
11	認知症を取り巻く環境の理解	認知症を取り巻く環境（物理的）理解について学ぶ ・環境要因で考慮すべきポイントとは	鎌田樹寛
12	認知症を取り巻く環境の理解	認知症を取り巻く環境（社会的資源）理解について学ぶ ・社会資源の利用によるサポートとは	鎌田樹寛
13	認知症を取り巻く環境の理解	家族支援の現状や実際について学ぶ 1. 事例検討からの理解	鎌田樹寛
14	認知症を取り巻く環境の理解	家族支援の現状や実際について学ぶ 2. 討論を通じた理解	鎌田樹寛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	まとめ	振り返りとまとめ	鎌田樹寛

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

教科書：特に定めない。適宜資料を配布する。

【参考書】

参考書：必要があれば、講義の中で紹介する。

【学修の準備】

予習では、テーマに関する文献の検索や講読（80分）

復習では、配布資料に関する文献や関連論文の講読（80分）